平成26年度発達障害に関する教員の専門性向上事業

甲奴小学校の取組

三次市立甲奴小学校

<学校概要>

平成27年1月21日現在

◆在籍児童数　103名
（通常の学級6学級，特別支援学級1学級）

◆平成24年度から特別支援教育の考え方を取り入れ，巡回相談の結果を，個別の指導計画及び授業での具体的な指導に反映。

◆学校が支援を要すると判断した
通常の学級の児童数11名
（個別の指導計画を作成済）

<校内体制>

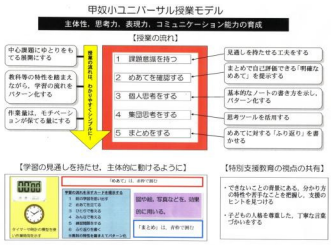
平成27年1月21日現在

◆特別支援教育コーディネーター1名指名
◆学期1回，個別の指導計画の交流実施
◆校内支援委員会を年4回開催
◆巡回相談3回実施
◆特別支援学校のセンター的機能の活用2回実施
◆保育所・中学校との連携
◆校内研修6回実施
◆学校支援員の配置

1　学校全体の取組

「甲奴小ユニバーサル授業モデル」の作成

①特別支援教育の視点の
　共有
②アセスメント
③授業づくり
④授業を支える環境の研究



2　授業実践報告（概要）

【授業概要】

◆道徳　第1学年
　主題名　わがままな気持ち
　　【1－(1)節度・節制】
◆ねらい　人の注意を聞いて，わがままを
　　しないで生活をしようとする態度を養う。

【学級全体の状況】

◆ 周りのことにはよく気が付いて注意をするが，自分のことには気が付きにくい。

【個の状況】

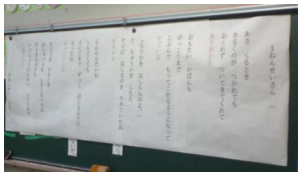
◆長時間じっとしていることが難しい児童
◆一斉指示が理解しにくく，発音が不明瞭な児童

2　授業実践報告
（学級全体への支援）

①導入・終末の工夫

＜導入＞
短時間でぐっと気持ちを引き付ける
・・・手遊び

＜終末＞
いい気持ちで授業を終える
・・・6年生からの手紙



2　授業実践報告
（学級全体への支援）

②身体表現化

新しく気付き，みんなで共有
集中力が続く・気持ちの切りかえにもなる

＜動作化＞
・かぼちゃのつる
・手遊び

＜役割演技＞
・かぼちゃ（児童）
はち・ちょう・すいか・子犬（指導者）

2　授業実践報告
（個への支援）

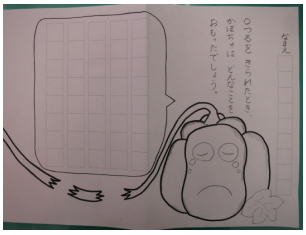
①視覚化

資料への興味・関心を高める
内容理解を助ける
イメージ化を助ける

・かぼちゃやつるの写真
・紙芝居
・人物絵
・徐々に伸びていくつる・・・

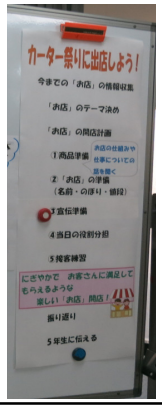
2　授業実践報告
（個への支援）

②ワークシートの工夫



吹き出し形式のワークシート
・見てわかる
・書きやすい
・読みやすい

単元の流れの掲示



2　授業実践報告
（総合的な学習の時間の授業で）

見通しを持たせる①

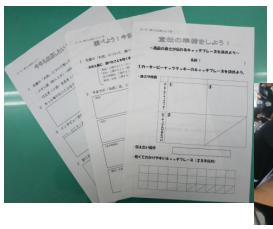
・安心して授業に臨める
・すぐに振りかえられる

活動のあしあとの掲示

2　授業実践報告
（日頃の授業で）

見通しを持たせる②

本時の流れがわかる
ワークシート



タイムスケジュールがわかる

3　成果と課題

【成果】

○「特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり」の視点を全指導案に明記
○職員の意識の変容
○児童の自己認容感の向上

【課題】

▲「個の状況」「個への支援」を明記した指導案の統一
▲個別の指導計画の統一
▲「全員目標達成ができた」授業だったか検証